

酒造原料米「京の輝き」 の鉄コーティング直播栽培技術 (農林センター)

主 旨

「京の輝き」は鉄コーティング直播で栽培しても倒伏しにくく、収量や品質が良好。



播種風景

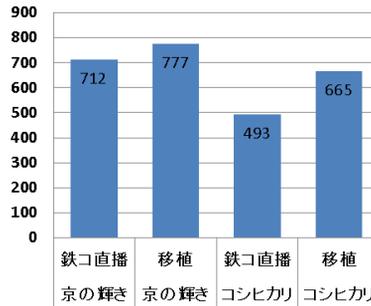


図1 10a収量(kg)(H26)



左「京の輝き」 右「コシヒカリ」

「コシヒカリ」鉄コ直播のデータを1として、「京の輝き」鉄コ直播と比較しました

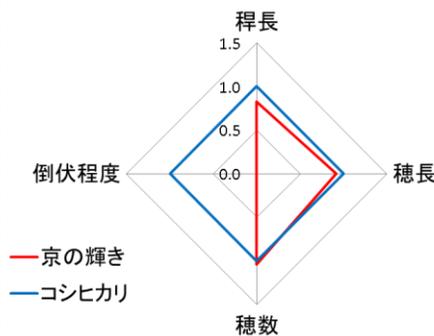


図2 成熟期の形質(H27)

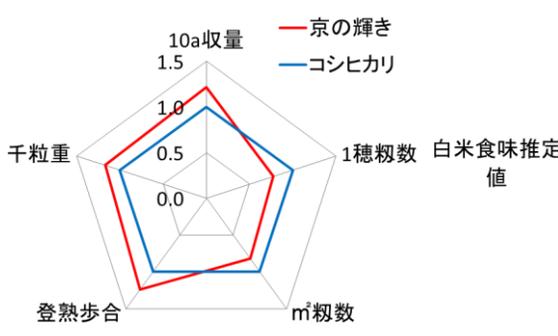


図3 収量及び収量構成要素(H27)

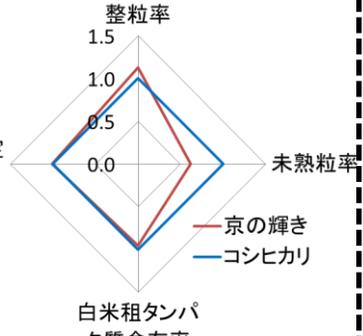


図4 食味及び品質(H27)

研究成果

- ・「京の輝き」の稈長が「コシヒカリ」に比べ短く倒伏しにくい
- ・「京の輝き」は登熟歩合が高く、収量も712kg/10aと「コシヒカリ」に比べ200kgも多収
- ・整粒率も高く、白米粗タンパク質含有率は「コシヒカリ」と同等

普及に移す具体的ポイント

- ・直播の播種密度は、50株/坪(株間22cm)に設定。
- ・基肥は磷加安14号を22kg/10a、穂肥 I にNK C-6号を9kg/10a、穂肥 II もNK C-6号を9kg/10a施用。
- ・基肥一発肥料を使用する場合は、溶出日数が110日程度の窒素を含む、肥効が長いタイプのものを使用。
- ・収穫期は、同時期に移植した「京の輝き」と比較すると10日程度遅れる。